

病院でよく

●尿と臨床検査。

病院を受診すると行う尿検査について

病院を受診すると、尿検査を行う場合があります。尿検査は、たん白・糖・炎症・出血の有無などを調べるもので、尿にこれらの異常がある場合には、糖尿病や腎臓病などの疑いがあります。



また、腹部エコー検査を受ける前には、排尿を我慢していただく場合がありますが、これは腹部エコー検査の際は尿がたまっていたほうが、膀胱や前立腺、子宮などの形や大きさが見やすくなるためです。

尿検査や腹部エコー検査を受ける際には、トイレに寄らずに検査室に来ていただくこと検査をスムーズに行うことができます。



もちろん、排尿を我慢しすぎるとは健康によくありませんので、検査を待っている間に尿意をもよおした場合には、採血室・生理検査の受付に声をお掛けください。



臨床検査室では正確で迅速な検査を心掛けています。検査について分からないことや聞きたいことがありましたら、気軽にお問い合わせください。

◎市民病院診療技術部臨床検査室

☎43-2511 (代表)



HiFiFiFiFi

●12月は地球温暖化防止月間。

熱を逃がさず賢く省エネに努めましょう

冬は暖房により家庭でのエネルギー使用量が増える季節です。暖房器具を上手に使い、省エネとCO₂削減に努めましょう。

各暖房器具の省エネの例

- ▽電気カーペット…床に直接敷かず、保温性の良いシーツを下に敷きましょう。
- ▽こたつ…掛け布団の上にもつ1枚上掛けを掛けます。
- ▽エアコン…寝る30分前には電源を切り、後は余熱で過ごしましょう。



●「太陽光発電の余剰電力買取制度」が

11月から始まりました

住宅などの屋根に取り付けた太陽光発電システムにより作られた電力のうち、使われずに余った電力を電力会社が買い取ります。

電力の買取価格は、太陽光発電システムを設置した年度によって異なりますが、買取期間を10年間とし、この間の価格は固定されます(平成22年3月までに契約申込みした住宅用の場合、1kWあたり48円)。

この制度により、太陽光発電システムを設置する際の投資回収期間が10〜15年に短縮されることから、導入が加速し、温暖化対策や経済発展に大きく貢献することが期待されています。



◎環境政策課環境企画係 ☎44-3115



らぶらぶらぶ

●電話番号が変わったは騙しの前兆電話？

振り込め詐欺にご用心！

日々手口が巧妙化する振り込め詐欺。近年よくある振り込め詐欺の手法に、「電話番号が変わったんだけど」というものがあります。

これは、家族の名をかたり、事前に電話番号が変更になったと伝え、電話機の登録情報を変更させることで、次回以降掛かってくる詐欺電話を、本当の家族からの電話と思い込ませようとするものです。

はじめは電話番号変更の連絡だけで終わりますが、後日、その電話番号から改めて「トラブルに巻き込まれて、解決するのにお金が必要」などと電話を掛け、銀行口座にお金を振り込ませようとしてきます。

また、番号変更を伝えることで、本当の家族に確認電話をさせなくすることも、この手口の目的の一つです。

このような前兆電話が掛かってきた場合には、すぐに登録情報を変更せず、古い電話番号をどこかに書き残しておき、変更前の電話番号に掛け直すなどして、連絡が本当であるか家族に再確認を行うよう心掛けましょう。

また、あやしいなと思う電話が掛かってきた場合には、最寄りの交番や警察署へご連絡ください。



◎地域振興課交通防犯係 ☎44-3125